

【事務事業調査】

事務事業名	赤ちゃん訪問事業費		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	健康づくり担当 田中圭子	事業の分類 既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	赤ちゃんが生まれた家庭を4か月健診までに全戸訪問を行い、育児不安等に早期に対応する。出生届け時にお知らせを配布。出生状況や連絡先を記入し返信してもらう。返信のあった家庭へ連絡し訪問日を決める。生後2ヶ月後に返信がない場合は、連絡先がわかれば連絡をし訪問の手配をする。連絡先が不明な場合は直接訪問する。第1子や希望者には助産師が訪問し、その他は保健師、看護師が訪問。計測、母子の健康状態の確認、予防接種のお知らせの配布、母子支援事業の説明等を行う。訪問後継続した支援が必要かどうか検討し、適切なサービスへつなぐ。育児不安が強く早急に対応が必要な場合は、こどもみらい課と連携し対応にあたる。	家庭を訪問し母子に面接することで、母子の健康状態や育児環境を知ることができ、母親の育児不安や育児ストレス、産後うつに対し、早期に支援することができる。早期支援の実施により虐待を回避し、健やかな児の成長を促すことができる。
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
訪問実施率	95%		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	213	看護師 @8,490×25日=212,250
2 消耗品	45	指導用パンフレット @150×300冊
3 委託料	616	在宅助産師 @2,800×220件=616,000
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
	874	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	874		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	874		